



Sun Java™ System

Portal Server Mobile Access 6

管理ガイド

2005Q4

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 819-4115

Copyright © 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Sun Microsystems, Inc. は、この製品に含まれるテクノロジーに関する知的所有権を保持しています。特に限定されることなく、これらの知的所有権は <http://www.sun.com/patents> に記載されている 1 つ以上の米国特許および米国およびその他の国における 1 つ以上の追加特許または特許出願中のものが含まれている場合があります。

このソフトウェアは SUN MICROSYSTEMS, INC. の機密情報と企業秘密を含んでいます。SUN MICROSYSTEMS, INC. の書面による許諾を受けることなく、このソフトウェアを使用、開示、複製することは禁じられています。

U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

この配布には、第三者が開発したソフトウェアが含まれている可能性があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd が独占的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Java、Solaris、JDK、Java Naming and Directory Interface、JavaMail、JavaHelp、J2SE、iPlanet、Duke のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴ、Solaris のロゴ、SunTone 認定ロゴマークおよび Sun ONE ロゴマークは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

Legato および Legato のロゴマークは Legato Systems, Inc. の商標であり、Legato NetWorker は同社の商標または登録商標です。

Netscape Communications Corp のロゴマークは Netscape Communications Corporation の商標または登録商標です。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

この製品は、米国の輸出規制に関する法規の適用および管理下にあり、また、米国以外の国の輸出および輸入規制に関する法規の制限を受ける場合があります。核、ミサイル、生物化学兵器もしくは原子力船に関連した使用またはかかる使用者への提供は、直接的にも間接的にも、禁止されています。このソフトウェアを、米国の輸出禁止国へ輸出または再輸出すること、および米国輸出制限対象リスト (輸出が禁止されている個人リスト、特別に指定された国籍者リストを含む) に指定された、法人、または団体に輸出または再輸出することは一切禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

目次

このマニュアルについて	7
対象読者	7
このマニュアルを読む前に	8
内容の紹介	8
表記上の規則	9
モノスペースフォント	9
ボールドモノスペースフォント	9
イタリックフォント	10
角括弧	10
コマンド行プロンプト	10
関連マニュアル	11
マニュアルセットの内容	11
その他のサーバーマニュアル	11
オンラインでの Sun リソースへのアクセス	11
Sun テクニカルサポートへのお問い合わせ	12
Sun 以外の関連 Web サイトについて	12
コメントをお寄せください	12
第 1 章 概要	13
Mobile Access ソフトウェアの理解	13
ポータルデスクトップ	14
クライアントタイプ	15
認証	15
音声アクセス	16
チャンネル、コンテナ、プロバイダ	16
チャンネル	16
コンテナチャンネル	16

プロバイダ	17
レンダリング	18
モバイルアプリケーション	19
管理コンソール	19
Mobile Access ソフトウェアの機能	20
標準の管理機能	20
ログイン	20
標準ポータルデスクトップ	21
第 2 章 モバイル機器の管理	23
クライアント検出の理解	23
クライアントデータベースの管理	24
クライアントデータベースを更新するには	25
「クライアントマネージャー」の使用	25
マークアップ言語	25
スタイル	26
デバイス情報	27
フィルタオプション	27
クライアントエディタ	27
「クライアントマネージャー」を起動するには	28
スタイルプロパティを表示するには	28
クライアントタイプデータの管理	29
クライアントタイプを編集するには	30
スタイルを継承した新しいデバイスを作成するには	32
プロパティを継承した新しいデバイスを作成するには	34
カスタムデバイスを削除するには	36
ポータルユーザーが選択したクライアントタイプを識別するには	37
第 3 章 モバイル認証の設定	39
NoPassword 認証	39
NoPassword モジュールを有効にするには	39
匿名認証	41
第 4 章 モバイルポータルデスクトップの管理	43
WirelessDesktopDispatcher の理解	43
WirelessDesktopDispatcher プロパティの編集	44
selectedClients プロパティを編集するには	44
条件プロパティの設定	45
モバイルチャネルの条件プロパティを設定するには	46
チャネルの状態プロパティの編集	47
チャネルの状態プロパティを編集するには	48
JSPRenderingContainer プロパティの編集	48

JSPRenderingContainer の拡張プロパティを編集するには	49
第 5 章 モバイルアプリケーションの設定	51
サービス設定属性の使用	52
サービス設定属性を編集するには	52
アイデンティティ管理属性の使用	53
アイデンティティ管理サービス属性を編集するには	53
アイデンティティ管理ユーザー属性を編集するには	54
モバイルアプリケーションテンプレートについて	55
第 6 章 音声アクセスの設定	57
音声機能の概要	57
音声アクセスの設定	58
音声サービスプロバイダの使用	58
テレフォニーシステムの使用	59
SIP (Session Initiation Protocol) の使用	59
ネイティブオーディオの使用	60
Nuance Voice Web Server のインストール	60
音声アクセス可能なユーザーアカウントの作成	62
Portal Server ソフトウェアへのアクセス	62
音声サービスプロバイダの使用	62
電話の使用	63
SIP (Session Initiation Protocol) の使用	63
ネイティブオーディオの使用	63
用語集	65
索引	67

このマニュアルについて

このマニュアルでは、Sun Java™ System Portal Server Mobile Access (以前の名称は Sun™ ONE Portal Server, Mobile Access) ソフトウェアの管理機能の使い方について説明しています。この章は、次の節で構成されています。

- [対象読者](#)
- [このマニュアルを読む前に](#)
- [内容の紹介](#)
- [表記上の規則](#)
- [関連マニュアル](#)
- [オンラインでの Sun リソースへのアクセス](#)
- [Sun テクニカルサポートへのお問い合わせ](#)
- [Sun 以外の関連 Web サイトについて](#)
- [コメントをお寄せください](#)

対象読者

このマニュアルは、サイトで Mobile Access ソフトウェアの管理を担当するポータル管理者またはシステム管理者を対象としています。

このマニュアルを読む前に

Mobile Access を管理する前に、次の事柄について理解しておくことをお勧めします。

- Sun Java System Access Manager (以前の名称は Sun™ ONE Identity Server、および Sun Java™ System Identity Server)
- Sun Java System Portal Server
- Sun Java System Portal Server Secure Remote Access
- Solaris™ 8 オペレーティングシステム (SPARC Platform Edition)、Solaris™ 9 オペレーティングシステム (SPARC Platform Edition)、または Solaris™ オペレーティングシステム (x86 Platform Edition)
- 基本的な UNIX の管理手順
- モバイル環境およびボイス環境に対応するポータルコンテンツの作成に使用されるマークアップ言語 (HTML、cHTML、VoiceXML など)
- LDAP (lightweight directory access protocol)

使用する Web コンテナによっては、次の製品のいくつかの知識が必要になります。

- Sun Java™ System Web Server (以前の名称は Sun™ ONE Web Server)
- Sun Java™ System Application Server
- BEA WebLogic Server 8.1 SP2
- IBM WebSphere 5.1

内容の紹介

このマニュアルの最初の章では、Portal Server Mobile Access 製品全体の概要について説明します。第 2 章から第 6 章では、Portal Server Mobile Access の機能の管理と設定について詳細に説明します。

このマニュアルは、次の章および付録で構成されています。

- **第 1 章「概要」**では、Mobile Access ソフトウェアの主な機能の概要について説明します。また、Access Manager ソフトウェアの管理コンソールと Portal Server デスクトップ (基本エンドユーザーインターフェース) に追加された Mobile Access 機能についても説明します。
- **第 2 章「モバイル機器の管理」**では、モバイル機器の識別と管理、クライアントデータベースの管理、および Sun Java System Access Manager クライアント検出インターフェースを使用したクライアントタイプデータの管理について説明します。

- [第3章「モバイル認証の設定」](#)では、モバイルアクセスを提供するポータルサイトに使用できる認証モジュールについて説明します。
- [第4章「モバイルポータルデスクトップの管理」](#)では、WirelessDesktopDispatcherの機能とさまざまなモバイルポータルデスクトッププロパティの編集手順について説明します。
- [第5章「モバイルアプリケーションの設定」](#)では、Access Manager ソフトウェアによって提供される管理コンソールを使って、アドレス帳、カレンダー、およびメールアプリケーションに関連するアプリケーション設定を管理する方法について説明します。
- [第6章「音声アクセスの設定」](#)では、ポータルサイトへの音声アクセスに関する Mobile Access ソフトウェアのサポートについて説明します。

上記のほかに、用語集と索引も提供されています。

表記上の規則

このマニュアルでは、記載されている情報の種類を表すために、いくつかの表記上の規則を使用しています。

モノスペースフォント

モノスペースフォントはコンピュータ画面に表示されるテキスト、またはユーザーが入力するテキストを表します。また、ファイル名、識別名、関数、コーディング例にも使用します。

ボールドモノスペースフォント

ボールドモノスペースフォントはコード例の中でユーザーが入力するテキストを表します。たとえば、次のようなコード例があるとします。

```
./pssetup
*****
Sun(TM) ONE Portal Server
*****
Installation log at
/var/sadm/install/logs/ipsinstall.13343/install.log
```

This product will run without a license. However, you must either purchase a Binary Code License from, or accept the terms of a Binary Software Evaluation license with, Sun Microsystems, to legally use this product.

Do you accept? yes/[no]

この例では、`./pssetup` がコマンド行から入力する部分になります。残りの部分は、その結果表示された出力になります。

イタリックフォント

イタリックフォントはインストール状況に応じた固有の情報 (変数など) を使用して入力するテキストに使用されます。サーバーのパス、名前、アカウント ID などに使用されます。

角括弧

角括弧 [] はオプションパラメータを囲みます。たとえば、Portal Server ソフトウェアのマニュアルには、`dpadmin` コマンドの使用法が次のように記されています。

```
dpadmin list|modify|add|remove [command-specific options]
```

[command-specific] は、`dpadmin` コマンドにオプションパラメータを追加できることを示しています。

コマンド行プロンプト

コマンド行プロンプト (C シェルの `%`、Korn または Bourne シェルの `$` など) の例は示しません。使用しているオペレーティングシステム環境に応じて、コマンド行プロンプトの表示は異なります。ただし、特に指定されていないかぎり、コマンドはマニュアルで表示されているとおりに入力する必要があります。

関連マニュアル

<http://docs.sun.com>SM Web サイトから、Sun 技術マニュアルをオンラインで利用できます。アーカイブを参照することも、特定の書名や件名で検索することもできます。

マニュアルセットの内容

この Mobile Access ソフトウェアリリースには、このマニュアル以外にも、管理者向けの補足情報および開発者向けのマニュアルが用意されています。

このマニュアルセットで利用可能なマニュアルは次のとおりです。

- 『Sun Java™ Portal Server Mobile Access 6 Developer's Reference Manual』
- 『Sun Java™ Portal Server Mobile Access 6 Deployment Guide』
- 『Sun Java™ Portal Server Mobile Access 6 Developer's Guide』
- 『Sun Java™ Portal Server Mobile Access 6 Tag Reference Library』

その他のサーバーマニュアル

Portal Server のマニュアルはすべて、次の URL で参照できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/prod/2510#hic>

オンラインでの Sun リソースへのアクセス

『Sun Java System Portal Server Mobile Access 6 管理ガイド』は、オンラインで PDF 形式と HTML 形式を参照できます。このマニュアルは次の URL にあります。

<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-2436>

Sun テクニカルサポートへのお問い合わせ

この製品に関する技術的な質問があり、製品マニュアルでは回答が得られなかった場合は、<http://www.sun.com/service/contacting> にアクセスしてください。

Sun 以外の関連 Web サイトについて

Sun は、このマニュアルに記載されているサードパーティーの Web サイトの利用可能性について責任を負いません。Sun は、サードパーティーのサイトやリソース上またはこれらを通じて利用できるコンテンツ、広告、製品、その他の素材について保証せず、いかなる責任も負いません。こうしたサイトやリソース上またはこれらを通じて利用できるコンテンツ、製品、またはサービスを利用または信用したことに伴って発生した、あるいは発生したとされるいかなる損害や損失についても、Sun は一切責任を負いません。

コメントをお寄せください

弊社ではマニュアルの改善に努力しており、お客様からのコメントおよび提案を歓迎いたします。

コメントをお送りいただく際は、<http://docs.sun.com> にアクセスして、「Send Comments」をクリックしてください。オンラインフォームに、マニュアルのタイトルと Part No. をご記入ください。このマニュアルの Part No. は 819-4115 であり、このマニュアルのタイトルページまたは上部に記載されています。たとえば、このマニュアルのタイトルは、『Sun Java System Portal Server Mobile Access 6 2005Q4 管理ガイド』であり、Part No. は 819-4115 になります。

概要

Sun Java™ System Portal Server Mobile Access ソフトウェアは、Sun Java System Portal Server プラットフォームのサービスと機能を携帯電話や PDA (携帯情報端末) 機器などのモバイル機器にまで拡張します。また、音声アクセスのフレームワークも提供します。Mobile Access ソフトウェアにより、ポータルサイトユーザーは、ハイパーテキストマークアップ言語 (HTML) を必要とするブラウザを使用してアクセスするときと同じコンテンツを取得できます。このソフトウェアでは、Sun Java™ System Portal Server Secure Remote Access ソフトウェアがサポートされ、Sun Java™ System Access Manager ソフトウェアの管理コンソールが使用されます。

この章では、Mobile Access ソフトウェアの主な機能の概要について説明します。また、Sun Java System Access Manager ソフトウェアの管理コンソールと Portal Server デスクトップ (基本エンドユーザーインタフェース) に追加された Mobile Access 機能についても説明します。この章では次のトピックについて説明します。

- [Mobile Access ソフトウェアの理解](#)
- [管理コンソール](#)
- [標準ポータルデスクトップ](#)

Mobile Access ソフトウェアの理解

この節では、Mobile Access ソフトウェアの次の機能を理解し、これらの機能により Portal Server ソフトウェアの機能を拡張する方法について説明します。

- [ポータルデスクトップ](#)
- [クライアントタイプ](#)
- [認証](#)
- [音声アクセス](#)

- [チャンネル、コンテナ、プロバイダ](#)
- [レンダリング](#)
- [モバイルアプリケーション](#)

ポータルデスクトップ

ポータルサイトでは、モバイルポータルデスクトップ、音声ポータルデスクトップ、標準ポータルデスクトップの3種類のデスクトップが提供されます。これらの3種類のデスクトップは、Mobile Access ソフトウェアのコンポーネントである、WirelessDesktopDispatcher によって制御されます。Portal Server デスクトップサーブレットによって、WirelessDesktopDispatcher に要求が転送されます。

WirelessDesktopDispatcher では、ディスプレイプロファイル設定データを使用して、ユーザー要求の配信先として適切なポータルデスクトップ (標準、モバイル、音声) が決定されます。

ユーザーのポータルサイトへのアクセス方法にかかわらず、ポータルデスクトップはユーザーのポータルサイトのデフォルトインタフェースになります。モバイル機器を使用してポータルサイトにアクセスすると、モバイルポータルデスクトップが表示されます。電話を使用してポータルサイトにアクセスした場合は、音声ポータルデスクトップが応答します。

デフォルトでは、次のチャンネルをモバイルポータルデスクトップで利用および表示できます。

- [ユーザー情報](#)
- [ブックマーク](#)
- [個人用ノート](#)
- [アドレス帳](#)
- [カレンダー](#)
- [メール](#)
- [サンプル XML](#)

モバイルポータルデスクトップの詳細については、[第4章「モバイルポータルデスクトップの管理」](#)を参照してください。

クライアントタイプ

Mobile Access ソフトウェアは、市販されているほとんどすべてのモバイル機器をサポートしています。各モバイル機器(クライアント)は、クライアントプロファイルを使用して識別されます。各クライアントには、モバイル機器のブラウザで使用されるデバイスマークアップ言語に基づいて、クライアントタイプと呼ばれる一意の識別子が割り当てられます。

モバイル機器で使用されるマークアップ言語には、次のようなものがあります。

- HDML (Handheld Device Markup Language)
- cHTML (compact Hypertext Markup Language)
- iHTML (i-mode Hypertext Markup Language)
- JHTML (J-Sky Hypertext Markup Language)
- XHTML (Extensible Hypertext Markup Language)
- VoiceXML (Voice Extensible Markup Language)
- WML (Wireless Markup Language)

Mobile Access ソフトウェアでは、Nokia 6310i クライアントに対する WML サポートおよび Handspring Treo 180 クライアントに対する cHTML サポートが保証されています。ただし、ユーザーはこれらのマークアップ言語のいずれかを使用するモバイル機器でポータルコンテンツにアクセスできます。

クライアントプロファイルの管理には、Access Manager の管理コンソールの一部である「クライアントマネージャー」が使用されます。モバイルクライアントタイプおよび機器の検出の詳細については、第 2 章「モバイル機器の管理」を参照してください。

認証

Mobile Access ソフトウェアでは、Portal Server ソフトウェアによって提供される認証モジュールのサポートに加え、ユーザーに次のことを許可することも可能です。

- モバイルポータルデスクトップへのログイン時にパスワードプロンプトを省略する。
- 匿名ユーザーとしてログインする。

これらの認証モジュールの使用については、第 3 章「モバイル認証の設定」を参照してください。

音声アクセス

Mobile Access ソフトウェアは、VoiceXML アプリケーションのフレームワークを提供します。音声機能にアクセスするには、音声認識、テキスト読み上げ、および VoiceXML ブラウザに対応するように音声サーバーを設定する必要があります。

音声アクセスの詳細については、[第 6 章「音声アクセスの設定」](#)を参照してください。

チャンネル、コンテナ、プロバイダ

Mobile Access ソフトウェアでは、プロバイダ、チャンネル、およびコンテナを使用して、コンテンツをモバイルポータルデスクトップに表示します。

このトピックには、次の情報が含まれます。

- [チャンネル](#)
- [コンテナチャンネル](#)
- [プロバイダ](#)

チャンネル

チャンネルによって、コンテンツがモバイルポータルデスクトップに表示されます。チャンネルは、プロバイダオブジェクト、設定、およびチャンネルをサポートするために必要なデータファイル(テンプレートなど)から構成されています。

コンテナチャンネル

コンテナ(コンテナチャンネル)は、他のチャンネルのコンテンツを集めることにより、コンテンツをモバイルポータルデスクトップに表示するチャンネルです。Mobile Access ソフトウェアを使用すると、Portal Server ソフトウェアに含まれているコンテナチャンネルに次のデフォルトコンテナチャンネルが追加されます。

- JSPNativeContainer
- JSPRenderingContainer
- TemplateNativeContainer
- VoiceJSPDesktopContainer
- WirelessDesktopDispatcher

プロバイダ

「プロバイダ」は、モバイルポータルデスクトップ上でユーザーにチャンネルコンテンツを提供するための基盤を実装します。プロバイダは、汎用リソースのインタフェースを適合させます。

プロバイダのコンテンツソースには、次のものが含まれます。

- ファイル内のコンテンツ
- アプリケーションからの出力
- サービスからの出力

プロバイダは、モバイル機器のタイプごとに適切な形式でコンテンツを配信する Java™ クラスファイルです。モバイルポータルデスクトップが作成されると、関連するチャンネルのコンテンツについて各プロバイダにクエリが実行されます。

デフォルトのプロバイダには次のものが含まれます。

- `JSPRenderingProvider`
- `RenderingWrappingProvider`

次の新しいプロバイダがデフォルトコンテナに追加されます。

- `JSPRenderingContainerProvider`
- `JSPSingleRenderingContainerProvider`
- `WirelessDesktopDispatcherProvider`
- `WirelessJSPDesktopProvider`
- `WirelessTemplateClientConfigProvider`
- `WirelessTemplateContentProvider`
- `WirelessTemplateDesktopProvider`
- `WirelessTemplateLayoutProvider`

モバイルポータルデスクトップを設定するためのチャンネル、コンテナ、およびプロバイダの使用については、[第4章「モバイルポータルデスクトップの管理」](#)を参照してください。

レンダリング

モバイル機器を使用すると、ポータルサイトユーザーは HTML ブラウザを使用してアクセスするときと同じコンテンツにアクセスできます。これを可能にする処理は、レンダリングと呼ばれる変換処理です。レンダリングにより、コンテンツを一度だけ作成して、さまざまなモバイル機器に適切に表示することができます。

モバイルレンダリングコンポーネントは、機器を検出し、モバイル機器に表示するために出力をフォーマットします。このコンポーネントは、次の 4 つのサブコンポーネントから構成されています。

- クライアント検出: ポータルへのアクセスに使用される各モバイル機器の機能および特徴を決定します。これを実行するために、CC/PP (Composite Capability and Preference Profiles) 仕様、UAProf、または事前設定データが使用されます。
- レンダリングフィルタ: コンテンツをレンダリングエンジンに渡し、JavaServer Pages™ (JSP™) ソフトウェアテンプレートで設定されているコンテンツタイプの値を使用して、変換された機器固有のコンテンツをクライアントに渡します。レンダリングフィルタは、すべての認証およびアプリケーション JSP ソフトウェアテンプレートに適用されるサブレットフィルタです。
- レンダリングエンジン: AML (機器独立マークアップ言語) をクライアントに適した機器固有のマークアップ言語に変換します。

レンダリングされたコンテンツが、対象となる機器のページサイズを超えた場合、レンダリングエンジンは改ページ位置を調整し、それらのページを応答バッファに保存します。

- 応答バッファ: 制限されたデバイスバッファに収まるように、サイズの大きな出力ストリームを小さいサイズの応答に分けて保存します。応答バッファは、認証、デスクトップ、モバイルアプリケーションの各コンポーネントで使用されます。

クライアント機器が別のページを要求すると、応答バッファは次のページで応答します。

Mobile Access ソフトウェアは、ネイティブとレンダリングの両方のチャンネルおよびコンテナをサポートしています。ネイティブチャンネルは、JSP テクノロジーと、Nokia WML クライアントに固有のテンプレートに基づいています。HTML、VoiceXML、および WML をサポートするクライアントは、ネイティブポータルデスクトップのテンプレートを使用します。

レンダリングチャンネルでも JSP テクノロジが使用されます。レンダリングチャンネルにより、ユーザーはポータルデスクトップを表示して、特定のモバイル機器に固有のレンダリングコンテンツを表示することができます。この機能は、Mobile Access ソフトウェアのレンダリング処理を通過した AML (Abstract Markup Language) テンプレートを使用することにより、可能になります。cHTML、iHTML、JHTML、XHTML、および HDML をサポートするクライアントには、レンダリングされたポータルデスクトップの AML テンプレートが必要です。

モバイルアプリケーション

Mobile Access ソフトウェアには、次の 3 つのデフォルトアプリケーションが用意されており、ユーザーはモバイルポータルデスクトップでこれらのアプリケーションにアクセスできます。デフォルトアプリケーションは、次のとおりです。

- アドレス帳
- カレンダー
- メール

これらのアプリケーションは、モバイルポータルデスクトップがユーザーインタフェースの役目をして、バックエンドサーバーで実行されます。アプリケーションへのリンクが確立されると、Portal Server ソフトウェアの管理外で実行されます。ユーザーは、アプリケーションの使用を終了したら、モバイルポータルデスクトップに戻って他のプロバイダを使用できます。

管理コンソール

Mobile Access ソフトウェアの管理者は、Access Manager の管理コンソールを使用して、継続した日常管理タスクのほとんどを実行することができます。

この節では、ポータルサイトへのモバイルアクセスを管理する際の、管理コンソールの次の機能の使い方について詳しく説明します。

- [Mobile Access ソフトウェアの機能](#)
- [標準の管理機能](#)
- [ログイン](#)

Access Manager 管理コンソールおよび Access Manager ソフトウェアの管理方法については、『Sun Java™ System Access Manager 7 2005Q4 管理ガイド』を参照してください。

Mobile Access ソフトウェアの機能

ポータルサイトへのモバイルアクセスの管理に必要な機能は、管理コンソールの機能の一部です。これらの機能には次のものが含まれます。

- モバイルポータルデスクトップのデフォルトのコンテナチャネル
- 各モバイル機器のクライアントタイプに対応する条件プロパティのページ
- モバイルポータルデスクトップのプロバイダ
- モバイル機器のクライアントタイプに対応するマークアップ言語のカテゴリとプロパティ定義
- モバイルアドレス帳、メール、およびカレンダーアプリケーションの「サービス設定」ページ

標準の管理機能

管理コンソールでモバイルおよび音声ポータルデスクトップを管理する際に実行できる機能には、次の機能が含まれます。

- 特定のモバイル機器に対して動的にレンダリングされるチャネルを作成する
- デフォルト以外のコンテナおよびそれらに固有のチャネルリストをサポートするようにデフォルトの **Mobile Access** コンテナを編集する
- **Access Manager** ソフトウェアのクライアント検出インタフェースを使用してデバイスプロファイルを編集する
- デスクトップコンテナのプロパティを変更してモバイルポータルデスクトップでのチャネルの読み込み方法を制御する
- 「NoPassword」認証モジュールを編集してユーザーがパスワードの識別を省略できるようにする

ログイン

管理コンソールのデフォルト URL は、次のとおりです。

`http://server:port/amconsole`

管理者は、`amadmin` として管理コンソールにログインします。

Portal Server ソフトウェアの管理コンソールの使用については、『Sun Java™ System Portal Server 6 2005Q4 管理ガイド』を参照してください。

標準ポータルデスクトップ

Mobile Access ソフトウェアをインストールすると、ユーザーが HTML ベースのブラウザを使用して Portal Server ソフトウェアにログインするときに表示される標準ポータルデスクトップが変更されます。これらの変更により、ユーザーは HTML ブラウザを使用してモバイル機器のホームページをユーザー自身で管理することができます。

「モバイルデバイス」リンクが標準ポータルデスクトップのホームページに追加されます。ユーザーはこのリンクをクリックして「モバイルデバイス」ページを表示できます。ユーザーはこのページで次の操作を行うことができます。

- ユーザーがポータルサイトへのログインに使用するモバイル機器を表示する
- 各機器のモバイルポータルデスクトップに表示するチャンネルを選択する
- 各機器のモバイルポータルデスクトップに表示するチャンネルの順序を並べ替える
- モバイル機器をデバイスリストから削除する
- チャンネルコンテンツが各機器のモバイルポータルデスクトップにロードされる必要があるかどうかを設定する

標準ポータルデスクトップ

モバイル機器の管理

Sun Java System Portal Server Mobile Access ソフトウェアでは、Sun Java System Access Manager クライアント検出モジュールを使用して、ポータルサイトのユーザーがポータルサイトへのアクセスに使用するさまざまなクライアント、つまりモバイル機器を識別および管理します。

この章では次のトピックについて説明します。

- [クライアント検出の理解](#)
- [クライアントデータベースの管理](#)
- 「[クライアントマネージャー](#)」の使用
- [クライアントタイプデータの管理](#)

クライアント検出の理解

クライアント検出は、ポータルサイトへのアクセスに使用される各モバイル機器の機能および特徴を確認します。これを実行するために、CC/PP (Composite Capability and Preference Profiles) 仕様、UAProf、または事前設定データが使用されます。

Mobile Access ソフトウェアでは、各クライアントに対して次の 3 つのプロパティが定義されている必要があります。それらのプロパティは、次のとおりです。

- `clientType` - クライアントデータの固有のインデックスを提供する名前。Nokia 6310i 携帯電話の `clientType` の値は、Nokia6310i_1.0 です。
- `parentId` - デバイスの直接の親の ID (親がないオブジェクトの場合、値は `clientType` と同じ)。Nokia 6310i 携帯電話の `parentId` の値は、Nokia です。
- `userAgent` - HTTP ユーザーエージェント文字列。ベースおよびスタイル情報の場合は、この値を空にすることができます。Nokia 6310i 携帯電話の `userAgent` の値は、Nokia6310/1.0 です。

また、Mobile Access ソフトウェアでは、クライアントタイプの特定のプロパティ値の保存および取得に条件プロパティが使用されます。たとえば、desktopContainer 条件プロパティがこれに該当します。WirelessDesktopDispatche は、このプロパティを読み取って、要求されたクライアントタイプのデスクトップコンテナを決定します。

Mobile Access ソフトウェアは、クライアントタイプデータをファイル /etc/opt/SUNWam/config/ldif/sunAMClient_data.ldif から LDAP ディレクトリにインポートし、Access Manager ソフトウェアの API を使用して clientType を識別します。一致は、次の順序で決定されます。

1. 完全一致
2. 部分一致
3. キーワード一致

クライアントデータベースの管理

クライアントデータは、次の 2 つの場所に保存されます。

- すべてのデフォルトクライアントデータ定義が含まれた内部ライブラリまたはデータベース。内部ライブラリは、Access Manager ソフトウェアによって定義およびサポートされます。
- カスタマイズされたクライアントデータ定義が含まれた外部ライブラリ。このライブラリのデータは、内部ライブラリ内のクライアントデータよりも優先されません。

Mobile Access ソフトウェアをインストールすると、すべてのクライアントデータは内部ライブラリに保存されます。デバイスをカスタマイズすると、デバイスの優先バージョンが作成され、外部ライブラリに保存されます。これらのライブラリのデータは、サーバーの起動時にマージされます。

Mobile Access 製品には、新しいクライアントデータ定義を追加し、既存のクライアントプロパティの変更時にクライアントを更新して、3 か月ごとに内部ライブラリを更新するパッチが用意されています。この処理により、内部ライブラリを定期的に更新することができます。外部ライブラリに保存されているカスタマイズされたデータは変更されません。

このパッチの名前は、PortalMAClientDeviceUpdateRev nm です。このパッチの番号は、116412- nm です。 nm の値は、パッチのシーケンス番号です。たとえば、最初のパッチの nm が 01、2 番目のパッチが 02 になります。

クライアントデータベースを更新するには

1. <http://www.sun.com> を表示します。
2. 「Support & Training」リンクをクリックします。
3. 「Patches」リンクをクリックして SunSolve パッチデータベースに移動します。
4. 表示された手順に従います。

「クライアントマネージャー」の使用

Access Manager の管理コンソールでは、「クライアントマネージャー」を使用してモバイル機器のプロパティを管理することができます。

この節では、「クライアントマネージャー」によって提供される、クライアントタイプに関する次の情報について説明します。

- [マークアップ言語](#)
- [スタイル](#)
- [デバイス情報](#)
- [フィルタオプション](#)
- [クライアントエディタ](#)

また、この節では次の手順についても説明します。

- [「クライアントマネージャー」を起動するには](#)
- [スタイルプロパティを表示するには](#)

マークアップ言語

Mobile Access ソフトウェアは、モバイルクライアントブラウザで使用される次のマークアップ言語をサポートしています。

- HDML (Handheld Device Markup Language) – Openwave ブラウザを使用するモバイル機器用の Openwave の専用言語。Openwave の Handheld Device Transport Protocol (HDTP) を使用します。
このカテゴリの機器には、RIM 950 および UP.Browser 3.0 以前を使用する機器などが含まれます。
- JHTML (J-Sky Hypertext Markup Language) – 日本の J-Sky 機器に使用される Vodafone の専用言語。

このカテゴリの機器には、J-Phone 2.0、J-Phone 3.0、Mitsubishi V101D などが含まれます。

- VoiceXML (Voice Extensible Markup Language) – 対話型音声応答アプリケーションの音声ダイアログを作成するための標準。

このカテゴリの機器には、すべての電話またはすべての SIP (Session Initiation Protocol) ソフトウェアベースの電話が含まれます。

- WML (Wireless Markup Language) – XML (Extensible Markup Language) に準拠し、Wireless Application Protocol (WAP) の一部である言語。

このカテゴリの機器には、Motorola i95、Nokia 6310i、および Siemens S40 などが含まれる

- XHTML (Extensible Hypertext Markup Language) – 新しい要素を追加し、新しい属性を定義することにより誰でも拡張できる HTML 4.0 を再編成した言語。

このカテゴリの機器には、Motorola T720、Nokia 3560、Sony Ericsson T68 などが含まれます。

- cHTML (compact Hypertext Markup Language) – モバイル機器に対応するために HTML (ハイパーテキストマークアップ言語) をより単純にしたバージョン。

このカテゴリの機器には、Handspring Treo 180、Palm i705 Handheld、Toshiba e400 シリーズなどが含まれる

- iHTML (inline Hypertext Markup Language) – NTT DoCoMo の日本語 I-mode サービスに使用されるマークアップ言語。この言語は cHTML と似ていますが、独自の拡張機能が用意されています。

このカテゴリの機器には、NTT DoCoMo の電話などが含まれます。

スタイル

スタイルは、マークアップ言語の関連機器グループのプロパティセットです。たとえば、Nokia スタイルは、Nokia で製造されるすべての WML 機器に適用されます。

各マークアップ言語に 1 つ以上の「スタイル」が存在します。マークアップ言語によっては複数のスタイルを持つ場合もあります。

「スタイル」プロパティを無効にすることはできません。新しいデバイスを作成するときに既存のクライアントを新しいデバイスのテンプレートとして使用する場合、新しいクライアントは既存のクライアントの「スタイル」プロパティを継承します。

デバイス情報

デバイス情報は、更新可能なデバイス固有のクライアントタイプデータです。

デフォルトクライアントタイプのデバイス情報を変更する場合は、デフォルトクライアントタイプの新しいバージョンを別個に作成します。このカスタム情報は外部ライブラリに保存されますが、デフォルトデバイス情報は内部ライブラリに残されます。内部ライブラリのデバイスと区別するために、各カスタムデバイスのクライアントタイプ名にアスタリスクが2つ追加されます。

フィルタオプション

「フィルタ」オプションは、特定の「スタイル」に割り当てられている特定のクライアントタイプのグループを検索して表示するための検索フィールドです。

クライアントエディタ

クライアントエディタでは、クライアントタイプの作成とカスタマイズ、およびクライアントプロパティの管理が可能です。

クライアントエディタでは、プロパティは次のグループにまとめられます。

- 一般
- ハードウェアプラットフォーム
- ソフトウェアプラットフォーム
- Network Characteristics
- Browser UA
- WapCharacteristics
- PushCharacteristicsNames
- 追加プロパティ

「クライアントマネージャー」を起動するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。

デフォルトでは、水平なフレームの一番上の「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、左側の垂直フレーム、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。
2. 「サービス設定」タブをクリックします。
3. 左側の「サービス設定」フレームで、「Access Manager 設定」ヘッダーの下にある「クライアントディテクション」の矢印をクリックします。

「クライアントディテクション」のグローバル設定が右側の「データ」フレームに表示されます。
4. 「クライアントタイプ」ラベルの後ろにある「編集」リンクをクリックします。

「クライアントマネージャー」のインターフェースが表示されます。デフォルトでは、HTML デバイスの詳細が表示されます。

クライアントデータベースの管理については、[24 ページの「クライアントデータベースの管理」](#)を参照してください。

スタイルプロパティーを表示するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。

デフォルトでは、水平なフレームの一番上の「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、左側の垂直フレーム、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。
2. 「サービス設定」タブをクリックします。
3. 左側の「サービス設定」フレームで、「Access Manager 設定」ヘッダーの下にある「クライアントディテクション」の矢印をクリックします。

「クライアントディテクション」のグローバル設定が右側の「データ」フレームに表示されます。
4. 「クライアントタイプ」ラベルの後ろにある「編集」リンクをクリックします。

「クライアントマネージャー」のインターフェースが表示されます。デフォルトでは、HTML デバイスの詳細が表示されます。
5. 最上部のタブから、プロパティーを表示するデバイスのマークアップ言語 (「WML」など) をクリックします。

選択したマークアップ言語を使用するクライアントタイプがデータベースにある場合は、それらのクライアントタイプがアルファベット順で表示されます。

6. 「スタイル」プルダウンメニューから、目的のスタイル(「Nokia」など)を選択します。
 選択したスタイルについて、データベースにすでに存在するクライアントタイプのリストが表示されます。
7. 「現在のスタイルのプロパティ」リンクをクリックします。
 スタイルの編集ページが表示されます。デフォルトでは、「一般」プロパティのスタイルが表示されます。
8. 「プロパティ」プルダウンメニューから、表示するプロパティタイプ(「ソフトウェアプラットフォーム」など)をクリックします。

注 プロパティタイプには、「一般」、「ハードウェアプラットフォーム」、「ソフトウェアプラットフォーム」、「Network Characteristics」、「Browser UA」、「WapCharacteristics」、「PushCharacteristicsNames」、および「追加プロパティ」があります。

9. 「クライアントマネージャー」ページに戻るには、「取消し」をクリックします。

クライアントタイプデータの管理

クライアントタイプデータを管理するには、管理コンソールで「クライアントマネージャー」を使用します。

クライアントタイププロパティを変更したり、新しいクライアントタイプを作成して新しいデバイスを含めたり、サイト用にカスタマイズされた名前や他のプロパティを使用してクライアントタイプを設定したり、カスタムクライアントタイプを削除したりすることができます。

既存のデバイスに基づいて新しいデバイスを作成する場合(継承と呼ばれる処理)、新しいデバイスを作成するときに既存のデバイスのスタイルを基にするか、プロパティを基にするかを決定する必要があります。新しいデバイスと既存のデバイスを調べて、より適したオプション(スタイルまたはプロパティ)を決定します。どちらを選択する場合でも、デバイス定義をカスタマイズする必要があります。

注 クライアントタイプデータベースは、内部ライブラリと外部ライブラリから構成されています。内部ライブラリのデフォルトクライアントタイプ情報を変更したり、この情報にデータを追加したりすると、更新されたデータは外部ライブラリに保存されます。クライアントタイプ名に追加された2つのアスタリスクは、カスタマイズされたクライアントタイプであることを示しています。

この節では、次の手順について説明します。

- クライアントタイプを編集するには
- スタイルを継承した新しいデバイスを作成するには
- プロパティを継承した新しいデバイスを作成するには
- カスタムデバイスを削除するには
- ポータルユーザーが選択したクライアントタイプを識別するには

クライアントタイプを編集するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。

デフォルトでは、水平なフレームの一番上の「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、左側の垂直フレーム、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。

2. 「サービス設定」タブをクリックします。
3. 左側の「サービス設定」フレームで、「Access Manager 設定」ヘッダーの下にある「クライアントディテクション」の矢印をクリックします。
「クライアントディテクション」のグローバル設定が右側の「データ」フレームに表示されます。
4. 「クライアントタイプ」ラベルの後ろにある「編集」リンクをクリックします。
「クライアントマネージャー」のインターフェースが表示されます。デフォルトでは、HTML デバイスの詳細が表示されます。
5. 最上部のタブから、編集するデバイスのマークアップ言語（「WML」など）をクリックします。
選択したマークアップ言語を使用するクライアントタイプがデータベースにある場合は、それらのクライアントタイプがアルファベット順で表示されます。
6. 「スタイル」プルダウンメニューから、目的のスタイル（「Nokia」など）を選択します。
選択したスタイルについて、データベースにすでに存在するクライアントタイプのリストが表示されます。
7. 「クライアントタイプ」リストで、スクロールダウンして、編集するクライアント（「Nokia6310i_1.0」など）を見つけます。

ヒント クライアントはアルファベット順に表示されます。

特定のクライアントタイプまたはクライアントタイプのグループに直接移動するには、「フィルタ」オプションを使用します。「フィルタ」テキストボックスに、表示するクライアントタイプの最初の文字または最初の数文字を入力して、「フィルタ」をクリックします。たとえば、s で始まるクライアントタイプを検索するには、s* と入力します。

特定のページに移動するには、一番下までスクロールし、矢印または「ジャンプ」オプションを使用します。

8. 編集するクライアントの「アクション」列にある「編集」リンクをクリックします。
クライアントタイプの編集ページが表示されます。デフォルトでは、「一般」プロパティが表示されます。
9. 「プロパティ」プルダウンメニューから、変更するプロパティのタイプ（「ソフトウェアプラットフォーム」など）を選択します。
10. 変更するプロパティごとに値を変更または追加します。

ヒント 変更を消去して最初からやり直すには、「リセット」をクリックします。変更しないで、クライアントタイプの表示に戻るには、「取消し」をクリックします。

11. 「保存」をクリックして、これらの変更を反映します。

注 「保存」をクリックしないと、変更内容は反映されません。プロパティタイプは一度に1つずつ変更し、別のプロパティタイプを変更する前にそれらの変更内容を保存する必要があります。

このデバイスのプロパティが変更され、このスタイルのクライアントタイプのリストが表示されます。

12. プロパティが変更されていることを確認するには、「クライアントタイプ」リストでクライアントタイプを検索します。クライアントタイプ名に追加された2つのアスタリスクは、このクライアントタイプがカスタマイズされていることを示しています。

注	<p>デフォルトクライアントタイプを変更すると、「デフォルト」リンクが「アクション」列に追加されます。「デフォルト」リンクのリンク先は、内部ライブラリです。</p> <p>変更内容を削除して、クライアントタイプのプロパティをデフォルト値にリセットするには、このリンクをクリックします。この操作を実行するかどうかを確認するプロンプトは表示されません。</p>
---	--

スタイルを継承した新しいデバイスを作成するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。

デフォルトでは、水平なフレームの一番上の「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、左側の垂直フレーム、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。

2. 「サービス設定」タブをクリックします。
3. 左側の「サービス設定」フレームで、「Access Manager 設定」ヘッダーの下にある「クライアントディテクション」の矢印をクリックします。

「クライアントディテクション」のグローバル設定が右側の「データ」フレームに表示されます。

4. 「クライアントタイプ」ラベルの後ろにある「編集」リンクをクリックします。
「クライアントマネージャー」のインタフェースが表示されます。デフォルトでは、HTML デバイスの詳細が表示されます。
5. 最上部のタブから、設定するデバイスのマークアップ言語（「WML」など）をクリックします。

選択したマークアップ言語を使用するクライアントタイプがデータベースにある場合は、それらのクライアントタイプがアルファベット順で表示されます。

6. 「スタイル」プルダウンメニューから、目的のスタイル（「Nokia」など）を選択します。

選択したスタイルについて、データベースにすでに存在するクライアントタイプのリストが表示されます。

7. 「新規デバイス」をクリックして、「新規デバイスを作成」ページを表示します。
8. スタイルを選択する必要がある場合は、割り当てるスタイルのボタン（「Nokia」など）をクリックします。
9. 「デバイスユーザーエージェント」の値を入力します。

10. 「次へ」をクリックします。

入力した「デバイスユーザーエージェント」の値が「クライアントタイプ名」および「HTTP ユーザーエージェント文字列」フィールドに表示されます。

11. 必要な場合は、これらの値を変更します。

12. 「OK」をクリックして、これらのプロパティを保存します。

新しいデバイスが定義され、スタイルの編集ページが表示されます。このページには、割り当てた親スタイルから継承されたデフォルトプロパティが表示されます。

13. 「プロパティ」プルダウンメニューから、変更するプロパティタイプ（「ソフトウェアプラットフォーム」など）を選択します。

注 プロパティタイプには、「一般」、「ハードウェアプラットフォーム」、「ソフトウェアプラットフォーム」、「Network Characteristics」、「Browser UA」、「WapCharacteristics」、「PushCharacteristicsNames」、および「追加プロパティ」があります。

14. 「保存」をクリックして、これらの値に加えた変更を保存します。

ヒント 変更を消去して最初からやり直すには、「リセット」をクリックします。変更しないで、クライアントタイプの表示に戻るには、「取消し」をクリックします。

15. 「クライアントタイプ」リストを検索して、作成したクライアントタイプが利用できることを確認します。クライアントタイプ名に追加された2つのアスタリスクは、このクライアントタイプがカスタマイズされていることを示しています。

注 クライアントタイプを追加すると、「削除」リンクが「アクション」列に追加されます。「削除」リンクのリンク先は、外部ライブラリです。

追加したクライアントタイプを削除するには、このリンクをクリックします。この操作を実行するかどうかを確認するプロンプトは表示されません。

プロパティを継承した新しいデバイスを作成するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。
デフォルトでは、「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。
2. 「サービス設定」タブをクリックします。
3. 左側の「サービス設定」フレームで、「Access Manager 設定」ヘッダーの下にある「クライアントディテクション」の矢印をクリックします。
「クライアントディテクション」のグローバル設定が右側の「データ」フレームに表示されます。
4. 「クライアントタイプ」ラベルの後ろにある「編集」リンクをクリックします。
「クライアントマネージャー」のインターフェースが表示されます。デフォルトでは、HTML デバイスの詳細が表示されます。
5. 最上部のタブから、コピーするデバイスのマークアップ言語（「WML」など）をクリックします。
選択したマークアップ言語を使用するクライアントタイプがデータベースにある場合は、それらのクライアントタイプがアルファベット順で表示されます。
6. 「スタイル」プルダウンメニューから、目的のデフォルトスタイル（「Nokia」など）を選択します。
選択したスタイルについて、データベースにすでに存在するクライアントタイプのリストが表示されます。
7. 「クライアントタイプ」リストで、スクロールダウンして、新しいクライアントタイプのテンプレートとして使用する特定のクライアント（「Nokia6310i_1.0」など）を見つけます。

ヒント クライアントはアルファベット順に表示されます。

特定のクライアントタイプまたはクライアントタイプのグループに直接移動するには、「フィルタ」オプションを使用します。「フィルタ」テキストボックスに、表示するクライアントタイプの最初の文字または最初の数文字を入力して、「フィルタ」をクリックします。たとえば、s で始まるクライアントタイプを検索するには、s* と入力します。

特定のページに直接移動するには、一番下までスクロールし、矢印または「ジャンプ」オプションを使用します。

8. 新しいクライアントタイプのテンプレートとして使用するクライアントタイプの「アクション」列にある「複製」リンクをクリックします。

「デバイスを複製」ページが表示されます。コピーしているデバイスの「クライアントタイプ」および「デバイスユーザーエージェント」プロパティが表示され、デバイスの名前にプレフィックス Copy_of_ が追加されます。(たとえば、Copy_of_Nokia6310i_1.0)

9. 必要な場合は、これらのプロパティの新しい名前を入力します。
10. 「複製」をクリックして、これらの変更を反映します。

クライアントタイプの編集ページが表示されます。デフォルトでは、「一般」プロパティが表示されます。ここで表示されるすべてのプロパティの値は、この新しいクライアントタイプのマスターとして使用したクライアントタイプから継承されます。

ヒント 変更しないで、クライアントタイプの表示に戻るには、「取消し」をクリックします。

11. 「プロパティ」プルダウンメニューから、変更するプロパティのタイプ(「ソフトウェアプラットフォーム」など)を選択します。
12. 変更するプロパティごとに値を変更または追加します。

ヒント 値を消去して最初からやり直すには、「リセット」をクリックします。変更しないで、クライアントタイプの表示に戻るには、「取消し」をクリックします。

13. 「保存」をクリックして、これらの変更を反映します。

注 「保存」をクリックしないと、変更内容は反映されません。プロパティタイプは一度に1つずつ変更し、別のプロパティタイプを変更する前にそれらの変更内容を保存する必要があります。

このデバイスのプロパティが変更され、このスタイルのクライアントタイプのリストが表示されます。

14. 「クライアントタイプ」リストを検索して、クライアントタイプの複製が利用できることを確認します。クライアントタイプ名に追加された2つのアスタリスクは、このクライアントタイプがカスタマイズされていることを示しています。(たとえば、Copy_of_Nokia6310i_1.0 **)

注	<p>クライアントタイプを追加すると、「削除」リンクが「アクション」列に追加されます。「削除」リンクのリンク先は、外部ライブラリです。</p> <p>追加したクライアントタイプを削除するには、このリンクをクリックします。この操作を実行するかどうかを確認するプロンプトは表示されません。</p>
----------	--

カスタムデバイスを削除するには

ヒント	<p>カスタムデバイスを間違えて設定したときに、設定を変更したくない場合は、次の手順を使用してデバイスを完全に削除することができます。</p>
------------	---

1. **Access Manager** 管理コンソールに管理者としてログインします。

デフォルトでは、水平なフレームの一番上の「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、左側の垂直フレーム、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。
2. 「サービス設定」タブをクリックします。
3. 左側の「サービス設定」フレームで、「**Access Manager** 設定」ヘッダーの下にある「クライアントディテクション」の矢印をクリックします。

「クライアントディテクション」のグローバル設定が右側の「データ」フレームに表示されます。
4. 「クライアントタイプ」ラベルの後ろにある「編集」リンクをクリックします。

「クライアントマネージャー」のインタフェースが表示されます。デフォルトでは、HTML デバイスの詳細が表示されます。
5. 最上部のタブから、削除するデバイスのマークアップ言語（「WML」など）をクリックします。

選択したマークアップ言語を使用するクライアントタイプがデータベースにある場合は、それらのクライアントタイプがアルファベット順で表示されます。
6. 「スタイル」プルダウンメニューから、目的のスタイル（「Nokia」など）を選択します。

選択したスタイルについて、データベースにすでに存在するクライアントタイプのリストが表示されます。
7. 「クライアントタイプ」リストで、スクロールダウンして、削除するカスタムクライアント（「Copy_of_Nokia6310i_1.0」など）を見つけます。

ヒント	<p>クライアントはアルファベット順に表示されます。</p> <p>特定のクライアントタイプまたはクライアントタイプのグループに直接移動するには、「フィルタ」オプションを使用します。「フィルタ」テキストボックスに、表示するクライアントタイプの最初の文字または最初の数文字を入力して、「フィルタ」ボタンをクリックします。たとえば、s で始まるクライアントタイプを検索するには、s* と入力します。</p> <p>特定のページに直接移動するには、一番下までスクロールし、矢印または「ジャンプ」オプションを使用します。</p>
------------	--

- 削除するカスタムクライアントの「アクション」列にある「削除」リンクをクリックします。
このスタイルのクライアントタイプの変更されたリストが表示されます。
- 「クライアントタイプ」リストを検索して、削除したクライアントタイプが利用できなくなっていることを確認します。

ポータルユーザーが選択したクライアントタイプを識別するには

- Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。
デフォルトでは、水平なフレームの一番上の「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、左側の垂直フレーム、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。
- 左側の「ナビゲーション」フレームで、「表示」メニューから「ユーザー」を選択します。
Access Manager ユーザーのリストが左側の「ナビゲーション」フレームに表示されます。
- クライアントタイプを識別するモバイル機器を使用しているユーザーの名前を検索し、「フルネーム」からユーザーの名前の矢印をクリックします。
このユーザーの情報が右側の「データ」フレームに表示されます。
- 右側の「データ」フレームにある「表示」メニューから、「ポータルデスクトップ」を選択します。
- 「編集」リンクをクリックします。
「ポータルデスクトップ」ページが表示されます。

6. 「ユーザーディスプレイプロファイル」の「チャンネルおよびコンテナの管理」リンクをクリックします。
「チャンネル」ページが表示されます。
7. 「コンテナチャンネル」セクションで、「WirelessDesktopDispatcher」の「プロパティの編集」リンクをクリックします。
コンテナのプロパティ設定ページが表示されます。
8. selectedClients」までスクロールダウンし、そのリンクをクリックします。
selectedClients プロパティの編集ページが表示されます。このページには、ポータルサイトへのアクセスに使用されているデバイスのクライアントタイプのリストが表示されます。
9. リストを確認して、クライアントタイプを識別するデバイスのクライアントタイプ文字列を見つけます。

モバイル認証の設定

Portal Server Mobile Access ソフトウェアは、Sun Java System Portal Server ソフトウェアによって提供される認証モジュールをサポートしています。この章では、モバイルアクセスを提供するポータルサイトに使用できる、次の 2 つの認証モジュールについて説明します。

- [NoPassword 認証](#)
- [匿名認証](#)

NoPassword 認証

サイトの仕様でこの認証を必要とする場合は、ユーザー ID の入力を求めることなく、ユーザーにモバイルポータルデスクトップへのログインを許可することができます。

NoPassword モジュールを有効にするには

1. Sun Java System Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。
デフォルトでは、「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。
2. 「サービス設定」タブをクリックします。
3. 左側の「ナビゲーション」フレームで、「Access Manager 設定」から「コア」の矢印をクリックします。
「コア」属性ページが右側の「データ」フレームに表示されます。
4. 「プラグイン可能な認証モジュールクラス」テキストボックスに、次のように入力します。

```
com.sun.identity.authentication.modules.nopassword.NoPassword
```

5. 「追加」をクリックし、新しいクラスがリストに表示されるのを確認します。
6. 「保存」をクリックします。
7. 「組織認証モジュール」リストをスクロールダウンし、「NoPassword」が現在リストにあることを確認します。
8. 「ヘッダー」フレームの「アイデンティティ管理」タブをクリックします。
9. 「ナビゲーション」フレームにある「表示」フィールドから、「サービス」をクリックします。
10. 左側の「ナビゲーション」フレームで、「Access Manager 設定」から「コア」の矢印をクリックします。
11. 「組織認証モジュール」フィールドで、「NoPassword」と表示されたその他の認証モジュールをクリックします。

ヒント 複数のモジュールを選択するには、クリックするときに Shift キーを押さえます。

12. 「保存」をクリックします。
13. 選択したモジュールが強調表示されていることを確認します。

「NoPassword」を有効にすると、ユーザーは次の URL を使用してログインすることにより、パスワードの入力を省略できます。

`http://server:port/portal/UI/Login?module=NoPassword`

管理コンソールで「NoPassword」が有効になっている場合でも、認証レベルが `authlevel=0` に設定されているときは、ユーザーのログイン中に NoPassword モジュールは利用可能なモジュールのリストに表示されません。これを確認するには、次のサイトを表示します。

`http://server:port/amserver/UI/Login?authlevel=0`

特定の認証レベルによる認証モジュールへのアクセスの詳細については、『Sun Java™ System Access Manager 7 2005Q4 管理ガイド』を参照してください。

匿名認証

認証されたユーザーを体験させるためにユーザーをポータルサイトにアクセスさせた場合は、モバイルポータルデスクトップへの匿名ユーザーとしてのログインを許可することができます。

この機能では、認証されたセッションでモバイルポータルデスクトップおよび音声ポータルデスクトップのスナップショットをユーザーに公開します。

注 匿名ユーザーは、ステートフルデータが含まれるチャンネルのコンテンツや設定を変更、保存、または修正することはできません。匿名認証をサポートする場合は、匿名ユーザーがこれらのチャンネルを利用できないことを確認してください。

匿名認証の実装方法の詳細については、『Sun Java™ System Portal Server 6 2005Q4 管理ガイド』を参照してください。

匿名認証用のポータルデスクトップでは、JavaServer Pages™ (JSP™) ソフトウェアとテンプレートに対して WirelessDesktopDispatcher のほかに、デバイス固有のコンテナが使用されます。これらのコンテナには、認証されたユーザーの場合と同様に、匿名ユーザーに表示されるすべてのチャンネルが含まれている必要があります。

ヒント 匿名ユーザーに対してクライアント固有のモバイルポータルデスクトップまたは音声ポータルデスクトップが必要になる可能性がある新しいデバイスをサポートするには、次の手順に従います。

1. 適切なデバイス固有コンテナを作成します。
 2. 匿名ユーザーのディスプレイプロファイルで、その特定のデバイスタイプに新しいコンテナを使用するように WirelessDesktopDispatcher を変更します。
-

モバイルポータルデスクトップの管理

Portal Server Mobile Access ソフトウェアでは、Access Manager ソフトウェアの管理コンソールを使用してモバイルポータルデスクトップを管理します。

この章では次のトピックについて説明します。

- [WirelessDesktopDispatcher の理解](#)
- [WirelessDesktopDispatcher プロパティの編集](#)
- [条件プロパティの設定](#)
- [チャンネルの状態プロパティの編集](#)
- [JSPRenderingContainer プロパティの編集](#)

WirelessDesktopDispatcher の理解

Mobile Access ソフトウェアをインストールすると、Portal Server サイトでモバイルポータルデスクトップ、音声ポータルデスクトップ、および標準ポータルデスクトップが提供されます。ユーザーが Portal Server にログインするときに、

WirelessDesktopDispatcher (Mobile Access ソフトウェアのコンポーネント) では、ユーザー要求の配信先として適切なポータルデスクトップが決定されます。

WirelessDesktopDispatcher では、「XML 形式のディスプレイプロファイル」の設定を使用して、ユーザー要求の配信先として適切なポータルデスクトップ (標準、モバイル、音声) が決定されます。WirelessDesktopDispatcher は、次の処理を行います。

- デスクトップ要求のクライアントタイプを決定する
- ディスプレイプロファイル設定を使用してクライアントを適切なコンテナに一致させる
- 要求を適切なコンテナに配信する

モバイルポータルデスクトップのデフォルトチャンネルは、WirelessDesktopDispatcher です。WirelessDesktopDispatcher コンテナは、特定のデバイスのほかのコンテナをサポートするように編集できます。

WirelessDesktopDispatcher プロパティの編集

WirelessDesktopDispatcher プロパティには、次のものが含まれます。

- desktopContainer

desktopContainer プロパティは、モバイル機器を適切なコンテナにマッピングします。このマッピングによって、要求の配信方法が識別されます。

デフォルトでは、ネイティブコンテンツを表示するデバイス (WML を使用する Nokia 製の機器など) からの HTTP 要求は、JSPNativeContainer に配信されます。レンダリングされたコンテンツを表示するデバイスからの HTTP 要求は、JSPRenderingContainer に配信されます。

desktopContainer プロパティの編集方法については、[46 ページの「モバイルチャンネルの条件プロパティを設定するには」](#)を参照してください。

- selectedClients

selectedClients プロパティは、ポータルサイトへのアクセスに使用されるモバイル機器を追跡します。ユーザーが新しいデバイスを使用してポータルサイトにアクセスすると、そのデバイスのクライアントタイプが selectedClients プロパティのコレクションに追加されます。

このプロパティは、標準ポータルデスクトップの「モバイルデバイス」編集ページにデバイスのリストを表示するためにも使用されます。各ユーザーは、他のデバイスでモバイルポータルデスクトップにログインすることにより、使用しているデバイスを表示し、リストに簡単に追加することができます。

selectedClients プロパティを編集するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。

デフォルトでは、「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。

2. 「ナビゲーション」フレームにある「表示」メニューから、「サービス」を選択します。
3. 「Portal Server 設定」から「ポータルデスクトップ」の矢印をクリックします。「ポータルデスクトップ」ページが右側の「データ」フレームに表示されます。

4. 「ディスプレイプロファイル」の「チャンネルおよびコンテナを管理」リンクをクリックします。
「チャンネル」ページが右側の「データ」フレームに表示されます。
5. 「コンテナチャンネル」セクションで、「WirelessDesktopDispatcher」の「プロパティの編集」リンクをクリックします。
コンテナのプロパティ設定ページが表示されます。
6. 「selectedClients」までスクロールダウンし、「selectedClients」リンクをクリックします。プロパティの編集ページが表示されます。
7. 必要に応じてプロパティを編集します。

条件プロパティの設定

管理者は、クライアントタイプの条件プロパティを使用して、クライアントタイプに固有のチャンネルまたはコンテナチャンネルのプロパティを指定することができます。クライアントデータと同様に、クライアントタイプの条件プロパティも階層型にすることができます。

条件プロパティの構文は、`client=clientType` です。たとえば、`client=WML` は、WML クライアントタイプの条件プロパティの名前です。

たとえば、クライアントタイプ `client=WML` の条件プロパティには、`WirelessDesktopDispatcher` の `desktopContainer` プロパティがあります。デフォルトでは、このプロパティの定義は、`desktopContainer=JSPRenderingContainer` です。

Nokia デバイスのデフォルト `desktopContainer` プロパティの階層表現は、次のようになります。

```
client=WML -> desktopContainer=JSPRenderingContainer
client=Nokia -> desktopContainer=JSPNativeContainer
```

WML クライアントスタイル内のデバイスでは、`JSPRenderingContainer` が使用されます。ただし、Nokia クライアントスタイルによって定義された WML クライアントのサブセットでは、別の `desktopContainer` 定義が使用されます。これらのクライアントでは、`JSPNativeContainer` が使用されます。

モバイルチャネルの条件プロパティを設定するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。
デフォルトでは、「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。
2. 「ナビゲーション」フレームにある「表示」メニューから、「サービス」を選択します。
3. 「Portal Server 設定」から「ポータルデスクトップ」の矢印をクリックします。
「ポータルデスクトップ」ページが右側の「データ」フレームに表示されます。
4. 「ディスプレイプロファイル」の「チャネルおよびコンテナを管理」リンクをクリックします。
「チャネル」ページが右側の「データ」フレームに表示されます。
5. 「コンテナチャネル」セクションまたは「チャネル」セクションで、変更するチャネルの「プロパティの編集」リンクをクリックします。
チャネルのプロパティ設定ページが表示されます。
6. 変更するクライアントタイププロパティ (client=WML など) が見つかるまでスクロールダウンします。目的のプロパティのリンクをクリックします。
クライアントタイプのプロパティ設定ページが表示されます。

ヒント 新しい条件プロパティを定義するには、「プロパティの編集」ヘッダーの下にある「新規」をクリックします。

7. 該当する設定を追加または削除します。
8. 「保存」をクリックして変更を保存するか、「リセット」をクリックして最初からやり直します。
「変更は保存されました」メッセージが表示されます。

チャンネルの状態プロパティの編集

これらのプロパティは、JSPNativeContainer と JSPRenderingContainer の両方に対してチャンネルの状態を示します。これにより、エンドユーザーはチャンネルのコンテンツをインラインで読み込まずに、チャンネルのタイトルバーのみをモバイルポータルデスクトップに表示することができます。

注 標準ポータルデスクトップでは、チャンネルにボタンを提供してユーザーがチャンネルのコンテンツを最小化または最大化できるようにすることができます。ただしこれは、モバイルポータルデスクトップでは現在サポートされていません。

これらのプロパティには次のものが含まれます。

- `defaultChannelIsMinimizable` および `defaultChannelIsMaximizable`

これらのプロパティは、「表示するチャンネル」をデスクトップチェックボックス付きで標準ポータルデスクトップのユーザーの「モバイルデバイス」編集ページに表示するかどうかを指定します。これらのプロパティのデフォルト値は、**true** です。したがって、チェックボックスは表示されます。どちらかのプロパティが **false** の場合、チェックボックスは表示されません。

注 「表示するチャンネル」をデスクトップチェックボックス付きで表示するには、両方の値が **true** である必要があります。どちらかが **false** の場合、チェックボックスは表示されません。

- `defaultChannelIsMinimized`

このプロパティは、標準ポータルデスクトップのユーザーの「モバイルデバイス」編集ページでデスクトップチェックボックスの付いた「表示するチャンネル」にチェックマークを付けるかどうかを指定します。このプロパティのデフォルト値は、**true** です。したがって、チェックボックスにチェックマークは付かず、コンテナ内のすべてのチャンネルは最小化されたウィンドウ状態になります。

このプロパティが **false** に設定されている場合、チェックボックスにチェックマークが付き、コンテナ内のすべてのチャンネルは通常のウィンドウ状態になります。

チャネルの状態プロパティを編集するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。
デフォルトでは、「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。
2. 「ナビゲーション」フレームにある「表示」メニューから、「サービス」を選択します。
3. 「Portal Server 設定」から「ポータルデスクトップ」の矢印をクリックします。
「ポータルデスクトップ」ページが右側の「データ」フレームに表示されます。
4. 「ディスプレイプロファイル」の「チャネルおよびコンテナを管理」リンクをクリックします。
「チャネル」ページが右側の「データ」フレームに表示されます。
5. 「コンテンツチャネル」セクションで、変更するチャネルの「プロパティの編集」リンクをクリックします。
チャネルのプロパティ設定ページが表示されます。
6. これらのプロパティのチェックボックスまでスクロールダウンし、必要に応じて設定を変更します。
7. 「保存」をクリックして変更を保存するか、「リセット」をクリックして最初からやり直します。
「変更は保存されました」メッセージが表示されます。

JSPRenderingContainer プロパティの編集

JSPRenderingContainer の 2 つの拡張プロパティは、エラーページと編集ページの表示方法を指定します。これらのプロパティには次のものが含まれます。

- `errorChannel`
このプロパティは、JSPRenderingContainer およびレンダリングエンジンの使用時にデスクトップエラーが発生した場合に、エラーページをレンダリングするときに使用するチャネルを示します。
- `editContainerName`
このプロパティは、特定のクライアントに対して編集可能としてマークされたチャネルの編集ページをレンダリングするときに使用するチャネルを示します。

JSPRenderingContainer の拡張プロパティを編集するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。デフォルトでは、「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。
2. 「ナビゲーション」フレームにある「表示」メニューから、「サービス」を選択します。
3. 「Portal Server 設定」から「ポータルデスクトップ」の矢印をクリックします。「ポータルデスクトップ」ページが右側の「データ」フレームに表示されます。
4. 「ディスプレイプロファイル」の「チャンネルおよびコンテナを管理」リンクをクリックします。「チャンネル」ページが右側の「データ」フレームに表示されます。
5. 「コンテナチャンネル」セクションまたは「チャンネル」セクションで、変更するチャンネルの「プロパティの編集」リンクをクリックします。チャンネルのプロパティ設定ページが表示されます。
6. 「拡張プロパティ」ヘッダーまでスクロールダウンし、「デフォルト」プロパティを見つけます。
7. 必要に応じてプロパティを変更します。
8. 「保存」をクリックして変更を保存するか、「リセット」をクリックして最初からやり直します。「変更は保存されました」メッセージが表示されます。

モバイルアプリケーションの設定

Portal Server Mobile Access ソフトウェアには、次の 3 つのデフォルトアプリケーションが用意されており、エンドユーザーはモバイルポータルデスクトップからこれらのアプリケーションにアクセスできます。デフォルトアプリケーションは、次のとおりです。

- アドレス帳
- カレンダー
- メール

これらのアプリケーションは、Portal Server ソフトウェアがインストールされているサーバーで実行されます。モバイルポータルデスクトップは、ユーザーインタフェースとして機能します。アプリケーションへのリンクが確立されると、Portal Server ソフトウェアの管理外で実行されます。ユーザーは、アプリケーションの使用を終了したら、モバイルポータルデスクトップに戻って他のアプリケーションまたはチャネルを使用できます。

この章では、Sun Java System Access Manager ソフトウェアによって提供される管理コンソールを使用して、アドレス帳、カレンダー、およびメールアプリケーションに関連するアプリケーション設定を管理する方法について説明します。この章は次の節から構成されています。

- [サービス設定属性の使用](#)
- [アイデンティティ管理属性の使用](#)
- [モバイルアプリケーションテンプレートについて](#)

「サービス設定」および「アイデンティティ管理」機能の詳細については、『Sun Java™ System Access Manager 7 2005Q4 管理ガイド』を参照してください。通信チャネルの設定については、『Sun Java™ System Portal Server 6 2005Q4 管理ガイド』を参照してください。

サービス設定属性の使用

「サービス設定」レベル内では、デフォルトアプリケーション設定を表示および変更したり、ユーザー自身で編集できる設定を制御したりすることができます。

モバイルアプリケーションの場合、次の2つの設定が「サービス設定」に保存されます。

- **グローバル** これらの設定は、グローバルデフォルトを確立し、ユーザーによる編集機能を制御します。
- **ダイナミック** これらの設定は、ユーザーレベルで最終的に保存される情報のデフォルトパターンを確立します。

サービス設定属性を編集するには

1. **Access Manager** 管理コンソールに管理者としてログインします。

デフォルトでは、水平なフレームの一番上の「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、左側の垂直フレーム、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。

2. 「サービス設定」タブをクリックします。
3. 「モバイルアプリケーション設定」ヘッダーから、「モバイルアドレス帳」をクリックします。

「モバイルアドレス帳」ページが表示され、アドレス帳の設定が示されます。

4. 変更する設定を見つけ、変更する値を強調表示させます。
5. 「削除」をクリックします。
6. テキストボックスに、設定の新しい値を入力します。
7. 「追加」をクリックします。

新しい値が、設定の表示に反映されます。

8. 「保存」をクリックします。

これで、新しい設定を表示できるようになりました。

ヒント すべての値を消去して最初からやり直すには、「リセット」をクリックします。入力を取り消すには、「削除」をクリックします。

アイデンティティ管理属性の使用

「アイデンティティ管理」レベル内では、任意の組織またはユーザーのデフォルトアプリケーション設定を表示および変更することができます。

ここに保存される設定は、「サービス設定」レベルで保存されるダイナミック設定のコピーです。モバイルメールアプリケーションでは、組織の設定もここに保存されます。

アイデンティティ管理サービス属性を編集するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。

デフォルトでは、水平なフレームの一番上の「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、左側の垂直フレーム、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。

2. 「アイデンティティ管理」ページの左側にある「ナビゲーション」フレームで、「表示」メニューから「サービス」を選択します。

Access Manager サービスのリストが左側の「ナビゲーション」フレームに表示されます。

3. 「モバイルアプリケーション設定」ヘッダーから、変更するモバイルアプリケーションの矢印をクリックします。

アプリケーション設定ページが右側の「データ」フレームに表示されます。

4. 変更する設定をクリックします。下のテキストボックスにテキストが表示されます。

5. 必要に応じて値を変更または追加します。

6. 「保存」をクリックします。

これで、新しい設定を表示できるようになりました。

ヒント すべての値を消去して最初からやり直すには、「リセット」をクリックします。入力を取り消すには、「削除」をクリックします。

アイデンティティ管理ユーザー属性を編集するには

1. Access Manager 管理コンソールに管理者としてログインします。

デフォルトでは、水平なフレームの一番上の「ヘッダー」フレームで「アイデンティティ管理」が選択され、左側の垂直フレーム、「ナビゲーション」フレームで「組織」が選択されます。

2. 左側の「ナビゲーション」フレームで、「表示」メニューから「ユーザー」を選択します。

Access Manager ユーザーのリストが左側の「ナビゲーション」フレームに表示されます。

3. 「ユーザー ID」列から、ユーザー名の横にあるボックスを選択し、ユーザーのフルネームの後ろにある矢印をクリックします。

ユーザーの情報が右側の「データ」フレームに表示されます。

4. 右側の「データ」フレームで、「表示」メニューからモバイルアプリケーションを選択します。

モバイルアプリケーションのフレームが表示され、モバイルアプリケーションの設定が示されます。

5. ユーザーの設定を変更する場合は、値を入力します。

6. 「保存」をクリックします。

これで、新しい設定を表示できるようになりました。

ヒント

すべての値を消去して最初からやり直すには、「リセット」をクリックします。入力を取り消すには、「削除」をクリックします。

モバイルアプリケーションテンプレートについて

モバイルアプリケーションテンプレートは、アプリケーション設定の保存を管理するルールを設定するために存在します。テンプレートは、W3C (World Wide Web Consortium) から発表されている RFC 1738 の URL (Uniform Resource Locator) で表されます。

管理者は、テンプレート文字列を編集して、値を文字列のプロパティに割り当てたり、それらのプロパティに特定の使用ルールを適用したりすることができます。

テンプレート文字列は、単語 `default` で始まり、その後ろにパイプ記号 `|` が付いていなければなりません。この文字列で、テンプレート設定の名前とアプリケーションの動作を修正するために変更できる設定を指定します。Mobile Access のインストール時は、これらの設定はデフォルト値に設定されています。

コード例 5-1 は、アドレス帳テンプレートの例です。テンプレート文字列は、フィールドでは 1 つの長い文字列として表示されます。この例では、読みやすくするためにテンプレート文字列を数行に分けて表示しています。各アンパサンド (&) の前に改行が挿入されています。

コード例 5-1

```
default|undef:///?configName=MA-AB-APP
&default=sortBy
&default=sortOrder
&merge=sortBy
&merge=sortOrder
&sortBy=cn
&sortOrder=asc
```

この例のテンプレートの名前は、MA-AB-APP です。このテンプレートには、`sortOrder` と `sortBy` の 2 つの設定が含まれています。このテンプレートでは、それらの設定のデフォルト値と、それらの設定のユーザー定義を許可するルールが指定されています。

モバイルアプリケーションテンプレートについて

音声アクセスの設定

この章では、音声アクセスに関する Portal Server Mobile Access ソフトウェアのサポートについて説明します。この章は次の節から構成されています。

- [音声機能の概要](#)
- [音声アクセスの設定](#)
- [Nuance Voice Web Server のインストール](#)
- [音声アクセス可能なユーザーアカウントの作成](#)
- [Portal Server ソフトウェアへのアクセス](#)

音声機能の概要

Mobile Access ソフトウェアの音声アクセスのサポートにより、ユーザーは、電話または SIP (Session Initiation Protocol) を有効にして VoIP (Voice over IP) をサポートするソフトウェアを使って、音声対応コンテンツにアクセスできます。

このソフトウェアには、次の音声対応機能があります。

- **音声認証**—この機能を使用すると、ユーザーはアカウント番号と PIN を音声で伝えて (または入力して)、ポータルサイトに自分自身を識別させることができます。この認証プロセスにより、ユーザーは標準ポータルデスクトップまたはモバイルポータルデスクトップ上でそのユーザーが利用可能なコンテンツにアクセスできます。
- **チャンネル管理**—この機能を使用すると、ユーザーは音声対応アプリケーションのリストから選択できます。ユーザーは音声対応アプリケーションを追加したり、音声ポータルデスクトップから削除したりすることができます。
- **ノート**—ユーザーは、すべての Portal Server ユーザーに発行されているメッセージのリストを音声で聞くことができます。

- 個人用ノートユーザーは自分の Portal Server アカウントに関連付けられている個人用メッセージを音声で聞くことができます。

音声アクセスの設定

Mobile Access ソフトウェアには、音声アクセスのサポートが組み込まれています。音声コンポーネントは、VoiceXML 2.0 に準拠した音声ブラウザが付属する Nuance Voice Platform 上で保証されています。

音声機能にアクセスするには、音声認識、テキスト読み上げ、および VoiceXML ブラウザに対応するように音声サーバーを設定する必要があります。

この節では、次の設定オプションについて説明します。

- [音声サービスプロバイダの使用](#)
- [テレフォニーシステムの使用](#)
- [SIP \(Session Initiation Protocol\) の使用](#)
- [ネイティブオーディオの使用](#)

音声サービスプロバイダの使用

Portal Server ソフトウェアにインターネットからアクセスできる場合は、音声アプリケーションサービスプロバイダ、つまり音声ホスティングサービスを使用するのがもっとも簡単です。サービスプロバイダによって、音声サーバーが実行され、Portal Server ソフトウェアを呼び出すための電話番号が提供されます。

音声サービスプロバイダアクセスを有効にするには、次の手順を実行します。

1. Sun Java System Portal Server Mobile Access ソフトウェアをインストールし、インターネットからシステムにアクセスできることを確認します。Portal Server ソフトウェアの Web インタフェースに割り当てられたポートの HTTP トラフィックに対して、ファイアウォールを開かなければならない場合があります。
2. Nuance Voice Platform を使用する音声サービスプロバイダを確認します。プラットフォームでは、コア Nuance 認識プラットフォームだけでなく、Nuance Voice Web Server の VoiceXML ブラウザを使用する必要があります。Nuance Voice Platform をサポートする音声サービスプロバイダの完全なリストについては、Nuance にお問い合わせください。
3. 音声サービスプロバイダでアカウントを作成し、Portal Server ソフトウェアの HTTP URL を指定します。サービスプロバイダは、作成するサービスごとに電話番号と (可能な場合は) PIN を割り当てます。ほとんどの音声サービスプロバイダでは、評価アカウントの作成が許可されています。

テレフォニーシステムの使用

電話を使用して Portal Server ソフトウェアにアクセスする場合は、使用する電話網（または交換機）および音声サーバーハードウェアプラットフォームと互換性のある DSP (Digital Signal Processing) テレフォニーカードを用意する必要があります。NMS Communications では、Solaris™ オペレーティングシステム (SPARC Platform Edition) および Windows Intel プラットフォームと互換性のあるさまざまな DSP ソリューションを提供しています。

テレフォニーシステムアクセスを使用するには、次の手順を実行します。

1. 製造元が推奨する DSP ハードウェア、デバイスドライバ、およびソフトウェアをインストールします。NMS Communications の DSP カードを使用する場合は、NMS Natural Access 2002-1 ソフトウェアも必要になります。
2. テストユーティリティを使用して DSP カードの設定をテストします。通常、テストユーティリティは DSP ソフトウェアに付属しています。
3. 電話交換機のポートまたはポートの範囲を指定し、DSP カードと互換性のあるプロトコルを使用するようにポートを設定します。
4. 上記の手順 3 で設定したポートに電話番号を割り当てます。5. DSP カードを交換機に接続し、上記の手順 4 で指定した電話番号をダイヤルして、接続をテストします。DSP ハードウェアに付属のテストプログラムを使用して、正しく動作することを確認します。
5. Nuance コンポーネントのインストール方法については、「Nuance Voice Web Server のインストール」の節を参照してください。

SIP (Session Initiation Protocol) の使用

SIP (Session Initiation Protocol) を使用すると、ユーザーはマイクとスピーカーが装備されたコンピュータから VoIP (Voice over IP) を使用してポータルサイトにアクセスできます。

この機能を有効にするには、SIP ソフトウェアベース電話をインストールして音声サーバーと通信する必要があります。Pingtel が提供している SIP 対応のソフトウェアベース電話アプリケーション、InstantExpressa は、この目的のために使用できます。さまざまなパブリックドメイン SIP ベース電話をインターネット上で利用できます。

SIP アクセス用にシステムを設定するには、次の手順を実行します。

1. Portal Server ソフトウェアとの通信に使用するコンピュータを特定します。そのコンピュータで SIP プロトコルを使用して音声サーバーと通信できることを確認します。SIP ポートを開くようにファイアウォールを設定しなければならない場合もあります。

2. SIP ベース電話をこのコンピュータにインストールし、SIP サービスを利用できる場合は接続してテストします。多くの SIP ベース電話には、テストの目的でインストールできる単純なテストサーバーが付属しています。
3. Nuance コンポーネントのインストール方法については、58 ページの「Nuance Voice Web Server のインストール」の節を参照してください。

ネイティブオーディオの使用

ネイティブオーディオとは、音声サーバーソフトウェアが実行されているシステムから Portal Server ソフトウェアに直接アクセスすることを指します。したがって、音声サーバーにはオーディオカードとマイクが必要です。ユーザーはローカルでのみネイティブオーディオを操作できます。リモートからアクセスすることはできません。

Microsoft Windows オペレーティングシステムが実行されているシステムの場合は、SoundBlaster との互換性のあるサウンドカードが必要です。ネイティブオーディオアクセスを使用するには、次の手順を実行します。

1. Nuance コンポーネントのインストール方法については、60 ページの「Nuance Voice Web Server のインストール」の節を参照してください。
2. ネイティブオーディオを使用するために Nuance Voice Web Server を設定します。詳細については、Nuance Voice Web Server のマニュアルを参照してください。

Nuance Voice Web Server のインストール

注 音声サービスプロバイダを使用している場合は、この節を飛ばしてもかまいません。

Nuance Voice Web Server のインストールには、適切なハードウェアプラットフォームの選択、音声認識ソフトウェアのインストールと設定、および電話または IP ネットワークインタフェースによる接続の提供が必要です。

サーバーをインストールするには、次の手順を実行します。

1. 音声サーバーとして使用する専用システムを選択します。ハードウェアの要件については、Nuance Voice Web Server 2.0 のリリースノートを参照してください。
2. Nuance Voice Platform ソフトウェアを用意します。ハードウェアの要件については、Nuance のマニュアルを参照してください。
3. Nuance ソフトウェアと追加ソフトウェアを音声サーバーにインストールして設定します。Nuance のインストールに関する指示に従います。ソフトウェアコンポーネントおよびサービスパックをインストールする順番は重要です。

4. ネイティブオーディオ、SIP、またはテレフォニーアクセス用に Nuance Voice Web Server を設定します。
5. Nuance サービスを開始し、次に、Nuance Voice Web Server を起動します。
6. マイク、電話、または SIP ソフトウェアを使用して音声サーバーにアクセスし、Nuance 音声デモアプリケーションにアクセスできることを確認します。この時点で、Nuance ソフトウェアを調整して音声認識のパフォーマンスを改善しなければならない場合があります。手順については、Nuance のマニュアルを参照してください。

インストールが完了したら、Portal Server ソフトウェアにアクセスするように Nuance ソフトウェアを設定します。

Nuance ソフトウェアを設定するには、次の手順を実行します。

1. Nuance Voice Web Server を実行している場合は、シャットダウンします。
2. Nuance Voice Web Server のインストールから browser.conf ファイルを検索します。Microsoft Windows オペレーティングシステムの場合、このファイルは次のディレクトリにあります。

```
C:\Nuance\VWS\conf\browser.conf
```

3. テキストエディタを使用してこのファイルを開き、次のエントリを見つけます。
browser.initialPage=%CONTENT%/%LOCALE/initial/dialogs/main.vxml
4. このエントリを修正して、Portal Server ソフトウェアインストールの URL を含めます。

例

```
browser.initialPage=http://portal.example.com:58080/amserver/UI/Login
```

ここで、portal.example.com は、Portal Server ソフトウェアがインストールされているシステムのホスト名です。58080 は、ポータル Web インタフェースに割り当てられているポートです。

5. browser.conf ファイルを保存します。
6. Nuance Voice Web Server を再起動します。Voice Web Server は初期化され、着呼を待機します。

音声アクセス可能なユーザーアカウントの作成

音声機能を使用するには、Portal Server ソフトウェアにユーザーアカウントを作成する必要があります。音声アクセスの場合、音声アクセスを可能にするアカウントに数字のユーザー ID とパスワードを割り当てる必要があります。

10 桁のアカウント番号を作成します。アカウントパスワードは、PIN として使用されるため、数字のパスワードをアカウントに割り当てます。PIN は 4 桁の数字にする必要があります。

ユーザーアカウントの作成については、『Sun Java™ System Portal Server 6 2005Q4 管理ガイド』を参照してください。

Portal Server ソフトウェアへのアクセス

この節では、次のような Portal Server ソフトウェアへのアクセス方法について説明します。

- [音声サービスプロバイダの使用](#)
- [電話の使用](#)
- [SIP \(Session Initiation Protocol\) の使用](#)
- [ネイティブオーディオの使用](#)

音声サービスプロバイダの使用

サービスプロバイダによってアカウントに割り当てられた番号を呼び出します。

ソフトウェアが正しく設定されている場合は、次の会話が聞こえます。Portal Server アカウントに割り当てられたアカウント番号と PIN を音声で伝えます (または入力する)。

システム:

This is Voice Portal, by Sun.

Please say or key in your account number.

ユーザー:

415 555 5940

システム:

Got it.

And what's your PIN?

ユーザー:

1234

システム:

Hello, John. You're signed in.

Here are the portal channels you can choose from: Personal Notes, Notes.

You can also say add a channel.

Which would you like?

電話の使用

電話で Portal Server ソフトウェアにアクセスするには、通信サービスプロバイダによって音声サーバーに割り当てられた番号をダイヤルします。

SIP (Session Initiation Protocol) の使用

SIP ソフトウェア電話を使用する場合は、Portal Server ソフトウェアではなく Voice Server ソフトウェアの SIP アドレスを指定する必要があります。次の URL フォーマットを使用します。

```
sip://vws@voiceserver.example.com:5060
```

ここで、vws は、voiceserver.example.com というサーバーの「Nuance Voice Web Server サービスにアクセスする」という意味です。5060 は、Nuance Voice Web Server が SIP 接続要求を待機するポートです。

ネイティブオーディオの使用

ネイティブオーディオを使用するように Nuance Voice Web Server を設定している場合は、Nuance vws コマンドを使用してサーバーを起動します。サーバーは、起動するとすぐに Portal Server ソフトウェアにアクセスします。

用語集

このマニュアルセットで使用されている用語の完全な一覧は、『Java Enterprise System 用語集』 (<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-1933>) を参照してください。

索引

C

CC/PP, 23
cHTML, 26
clientType プロパティ, 23
Composite Capability and Preferences Profile, 23

D

defaultChannelsMaximizable プロパティ, 47
defaultChannelsMinimizable プロパティ, 47
defaultChannelsMinimized プロパティ, 47
desktopContainer プロパティ, 24, 44

E

editContainerName プロパティ, 48
errorChannel プロパティ, 48

H

Handspring Treo 180, 15
HDML, 25

I

iHTML, 26

J

JHTML, 25
J-Sky 機器のサポート, 25

N

Nokia 6310i, 15, 23
NoPassword 認証モジュール
概要, 39
有効化, 39
Nuance Voice Web Server, 60

P

parentId プロパティ, 23

S

selectedClients プロパティ, 44
Session Initiation Protocol, 59

T

SIP, 59

T

Treo 180, 15

U

UAProf, 23

userAgent プロパティ, 23

V

Voice over IP, 59

VoiceXML

アプリケーション, 16

定義, 26

ブラウザ, 16

VoIP, 59

W

WirelessDesktopDispatcher

概要, 14, 43

プロパティ, 44

WML, 26

X

XHTML, 26

あ

アイデンティティ管理

サービス属性の編集, 53

ユーザー属性の編集, 54

アスタリスク、クライアントタイプ名, 27

新しいデバイスの作成

スタイルの継承, 32

プロパティの継承, 34

新しいデバイスの設定

スタイルの継承, 32

プロパティの継承, 34

アドレス帳アプリケーション

概要, 19

設定, 51

アプリケーション設定

「アイデンティティ管理」レベル, 53

「サービス設定」レベル, 52

テンプレート, 55

アプリケーション、モバイルのタイプ, 19, 51

お

応答バッファ, 18

音声

Nuance Voice Web Server, 60

アクセス, 16, 58

音声サービスプロバイダ, 58

音声サービスプロバイダの使用, 58

認証, 57

ネイティブオーディオ, 60

ブラウザ, 58

ユーザーアカウントの作成, 62

音声アクセス、設定

Session Initiation Protocol, 59

音声サービスプロバイダ, 58

テレフォニーシステム, 59

ネイティブオーディオ, 60

音声サービスプロバイダ, 58

音声ポータルデスクトップ

概要, 14

ユーザー管理, 57

か

- 外部クライアントタイプデータ , 24
- 改ページ位置の調整 , 18
- カレンダーアプリケーション
 - 概要 , 19
 - 設定 , 51
- 管理コンソール
 - Mobile Access ソフトウェア機能 , 20
 - 音声ポータルデスクトップの管理 , 20
 - 概要 , 19
 - モバイルポータルデスクトップの管理 , 20
 - ログイン , 20

く

- クライアントエディタ , 27
- クライアント検出 , 18, 23
- クライアントタイプデータ
 - アスタリスク , 27
 - 外部ライブラリ , 24
 - 管理 , 29
 - 検索 , 27
 - 条件プロパティ , 24
 - 「スタイル」プロパティ , 26
 - データベース , 24
 - デバイス情報 , 27
 - 内部ライブラリ , 24
 - 必要なプロパティ , 23
 - 「フィルタ」オプション , 27
- クライアントタイプデータの管理 , 29
- クライアントタイプの識別 , 15, 37
- クライアントタイプの変更 , 30
- クライアントタイプの編集を元に戻す , 32
- クライアントデータベース , 24
- クライアントデータベースの更新 , 25
- クライアントプロファイル , 15
- クライアントマネージャー
 - アスタリスク , 27
 - 概要 , 25

- 起動 , 28
- クライアントエディタ , 27
- クライアントタイプデータの管理 , 29
- クライアントタイプの編集 , 30
- 「削除」リンク , 33, 36, 37
- スタイルの継承 , 32
- デバイスの消去 , 36
- 「デフォルト」リンク , 32
- 「複製」リンク , 35
- プロパティの継承 , 34
- 「編集」リンク , 28, 30, 32, 34, 36

こ

- コンテンツタイプ , 18
- コンテンツのバッファリング , 18

さ

- サービス設定
 - 属性の編集 , 52
- 「削除」リンク , 33, 36, 37

し

- 「ジャンプ」オプション , 31, 34
- 条件プロパティ
 - 概要 , 45
 - クライアントタイプデータの保存 , 24
 - 設定 , 46

す

- スタイルの継承 , 29, 32
- 「スタイル」プロパティ
 - 継承 , 29, 32

ち

使い方, 26

表示, 28

ち

チャンネル

拡張プロパティ, 48

条件プロパティ, 45

状態プロパティ, 47

ネイティブ, 18

レンダリング, 19

て

ディスパッチャー、ワイヤレスデスクトップ, 14

データベース、クライアント, 24

デバイス情報, 27

デバイスデータベース, 24

デバイスの削除, 36

デバイスの消去, 36

デフォルトアプリケーション, 51

デフォルトクライアントタイプの復元, 32

「デフォルト」リンク

クライアントタイプの編集, 32

テレフォニーシステム, 59

テンプレート、モバイルアプリケーション, 55

と

匿名認証, 41

な

内部クライアントタイプデータ, 24

に

認証

NoPassword, 39

音声, 57

匿名, 41

ね

ネイティブオーディオ, 60

ネイティブチャンネル, 18

は

パッチ、クライアントデータベース, 24

ひ

標準ポータルデスクトップ

概要, 14

ふ

「フィルタ」オプション, 27

「複製」リンク, 35

ブラウザ

HTML, 13

音声, 58

サポートされている, 15, 25

プロパティ

clientType, 23

defaultChannelsMaximizable, 47

defaultChannelsMinimizable, 47

defaultChannelsMinimized, 47

desktopContainer, 44

editContainerName, 48

errorChannel, 48

parentId, 23

- selectedClients, 44
- userAgent, 23
- WirelessDesktopDispatcher, 44
- 拡張, 48
- クライアントエディタのカテゴリ, 27
- 条件, 45
- スタイル, 26
- チャンネル状態, 47
- チャンネルとコンテナ, 44 ~ 49
- デバイスの継承, 34
- プロパティの継承, 29
- 手順, 34

へ

編集

- selectedClients プロパティ, 44
- 拡張チャンネルプロパティ, 49
- クライアントタイプ, 30
- チャンネルの状態プロパティ, 48
- 「編集」リンク
- 新しいデバイスの作成, 32, 34
- クライアントタイプの編集, 30
- 「クライアントタイプ」ラベルの, 28
- デバイスの消去, 36

ほ

- ポータルデスクトップ、音声
- 概要, 14
- ユーザー管理, 57
- ポータルデスクトップ、標準
- 概要, 14
- ユーザーのタスク, 21
- ポータルデスクトップ、モバイル
- 概要, 14
- デフォルトアプリケーション, 51
- デフォルトチャンネル, 14
- 保証されている機器
- Handspring Treo 180, 15

Nokia 6310i, 15

ま

- マークアップ言語
- cHTML, 26
- HDML, 25
- iHTML, 26
- JHTML, 25
- VoiceXML, 26
- WML, 26
- XHTML, 26
- 概要, 15
- レンダリング, 18
- マークアップ言語の変換, 18
- マニュアル
- 概要, 11

め

- メールアプリケーション
- 概要, 19
- 設定, 51

も

- モバイルアプリケーション
- アイデンティティ管理属性の編集, 53, 54
- アドレス帳, 19, 51
- アプリケーション設定, 51
- 概要, 51
- カレンダー, 19, 51
- サービス設定属性の編集, 52
- テンプレート, 55
- テンプレート文字列の編集, 55
- メール, 19, 51
- 「モバイルデバイス」リンク, 21
- モバイルポータルデスクトップ
- 概要, 14

よ

ユーザー管理, 21

よ

用語集, 65

れ

レンダリング

AML, 18

応答バッファ, 18

概要, 18

クライアント検出, 18

レンダリングエンジン, 18

レンダリングフィルタ, 18

レンダリングエンジン, 18

レンダリングチャンネル, 19

レンダリングフィルタ, 18